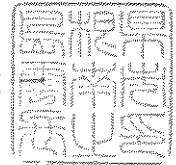


建 事 第 5 5 号
平成 1 9 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 殿

雲 南 市 長 連 水 雄



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について

平成 1 9 年 4 月 2 日付け、国道企第 1 1 4 号で依頼のありました標記の件について、
別紙の通り提出いたします。

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

「真に必要な道とは？あなたのお考えをお寄せください。」による意見把握では、【観光地へのアクセス向上】、【町並み自体を観光資源に】、【生活道路について人優先の歩行空間の整備を】、【緊急輸送道路などの重点的な整備を】、【理解、共感が得られるような説明と、スケジュール管理の徹底】、【幹線道路と生活道路の使い分け】が関心が高かった。

雲南市の南北を縦断する国道54号は、陰陽を結ぶ大動脈であり、市内拠点を結ぶ唯一の幹線でもある。このルート上には、市内の3区間15.6kmで異常気象時通行規制区間があり、連続雨量が230mm以上の場合、落石や土砂崩壊による災害が発生する恐れのある区間が通行止めとなる。

昨年7月豪雨では、国道9号が土砂崩れで通行止めとなった。この時の迂回路に国道54号が活躍したが、降雨量によっては有効な迂回路も存在しないのが我が島根の道路事情である。

この迂回路となりうる道路の整備が急務であって、山間部が多く道路整備に多大なコストがかかる面もあるが、緊急時の連絡ルート確保は、昨年7月豪雨で市内の一部地域で全ての出入り道路が崩壊し孤立状態となった苦い経験からも高速道路ネットワーク網整備と併せて幹線道路網整備が急がれる。

市内のどこからでも30分以内で、救急医療施設へアクセスすることが求められるが、現在のところ公立雲南総合病院まで掛合町と吉田町からは50分、三刀屋町、木次町、大東町で20～30分である。早期の尾道松江線供用開始によって掛合町と吉田町からの時間距離短縮による投資効果は計り知れない。

市内には三刀屋木次ICと吉田掛合ICの2つが出来るが、内新直轄で作られる区間には鑛製鉄跡を中心とした遺跡が多数存在する。

鑛製鉄で栄えた吉田の田部家、横田の糸原家、仁多の桜井家、加茂岩倉遺跡、大東の須賀神社、三刀屋の峰寺、木次の斐伊川堤防の桜並木等を結んだ奥出雲神話伝説を情報発信できる絶好の機会がまもなく訪れる。

以上、救急医療体制・緊急時の道路ネットワーク・雲南地域観光の面から、道路整備を見た場合の幹線道路ネットワーク整備の必要性について言及したが、こうした考えから雲南市内の緊急を要する道路整備に必要な事業費と年数を試算し、別紙資料として掲げた。

中期計画策定にあたっては、こうした基礎的資料の積み上げによる策定が重要であると考えている。

・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

今年度の島根県雲南県土整備事務所の道路改良系予算をみれば、ほとんどが国の補助事業を導入しながら整備率低下を抑えるための目いっぱいの努力の跡がうかがわれる。中でも重点施策の高速関連に重点投資であって、生活関連道路への配分が少ないのは仕方がない。真に必要な道路は道路特定財源の確保によって地域住民に説明責任が果たせるような計画性が立てられなくてはならない。

島根県では、今年3月「島根県道づくり調整会議」を発足されたが、雲南市の財政も自主財源に乏しく限られた予算の中で、何が出来るかが求められており、道づくり会議への期待は大きい。

雲南市では、合併前の14年春から、すでに雲南市内道路ネットワーク整備プロジェクトを県と6町村合併協で立ち上げ、合併前の平成16年春完成したところである。

今後、このネットワーク整備により、国道・県道・市道・農道・林道等の有機的結合によって、道路整備にあたっては、最小の投資で最大の効果が実現できる政策が進められなければならない。

・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

少子高齢化によって生産年齢人口の減少による成長率低下が叫ばれる中で、作った道路をいかに維持管理し長持ちさせるかが課題になってきている。

施設を長持ちさせるには、点検・調整・整備が不可欠であって、これまではとかく単独財源でしか対応できなかった。直して使うより新しいものに作り変えれば有利な制度となっていた仕組みを抜本的に見直す機会が訪れている。

また、道路特定財源が使われないで余っていると報道されているが、シーリングによって使えなくされているのであって道路整備に要する経費は、前傾資料のごとく、全国的にもなおも多額を要するのは論を待たない。

島根県雲南市の幹線道路整備 比較試算！！

整備を急ぐものだけで**1,350億円以上**

	都会地(代表:東京都)	中山間地域(代表:島根県または雲南市)
高速道路の整備 【参考1】	概ね整備済み	・島根県:計画延長283km 供用延長133km(供用率47%) ・雲南市内未供用延長25km ⇒要整備概算 約1,125億円 ※84億円/H18年 = 13年
幹線道路の歩道 【参考2】	国道の80% 両側歩道完備	雲南市関連 国道54号(国管理)………29% ⇒要整備額 約60億円 ※0.4億円/H18年(R54) = 150年
	全てのトンネル 歩道完備	雲南市関連 ・国道54号…5ヶ所トンネル(L=2.6km) = 歩道なし ⇒要整備額 約110億円 ※6.6億円/H18年(R54三刀屋TN) = 17年
要防災対策箇所、橋梁 耐震補強箇所【参考3】	幹線道路では通行障害と なる危険箇所はない	雲南市内 国道54号 ⇒要整備額 約36億円 ※2.4億円/H18年(耐震のみ) = 15年
買物、通学、医療活 動等の生活交通 【参考4】	高速道路+鉄道=充実	雲南市～生活圏中心都市(松江市、出雲市) 主要地方道(2路線) ⇒既計画のみ要整備額 約23億円 ・(主)松江木次線………4.8億円 ⇒ 2年 ・(主)出雲三刀屋線…17億円 ⇒0.9億円/H18 = 19年

■ 島根県の道路供用延長・供用率

	計画延長 (km)	供用延長 (km)	供用率 (%)	事業中 延長(km)	未事業化 延長(km)	未供用 延長(km)
全国	11,520	7,939	69	2,346	1,235	3,581
島根県	283	133	47	76	74	150
中国縦貫自動車道	22	22	100	0	0	0
広島浜田線	36	36	100	0	0	0
尾道松江線	51	26	52	25	0	25
山陰自動車道	173	48	28	51	74	125

雲南市内分

注1. 本四道路を除く高規格幹線道路を対象

2. 全国の延長は、「平成17年度道路関係予算概要」(国土交通)より
3. 山陰自動車道の延長は、尾道松江線と重複区間延長を含まない
4. 事業中区間には、整備計画区間および着工準備箇所を含む

資料／島根県HPより

■ 未供用延長に対する事業費

1kmあたり事業費
(45億円/km) ※

×

未供用延長
(25km)

=

約1,125億円

※1kmあたりの事業費は、国土交通省より聞き取り

幹線道路の整備

【参考2】

歩道整備

	総延長 (km)	歩道設置延長(片側と 両側含む)①		両側歩道設置区間②	
		延長(k	設置率	延長(k	設置率
東京都内の国道	321	272.4	85%	248.4	77%

	総延長 (km)	歩道設置区間(片側と 両側含む)①		両側歩道設置区間②	
		延長(km)	設置率	延長(km)	設置率
国道54号	64.5	60.9	94%	18.7	29%
国道314号	51.8	34.2	66%	5.1	10%
計	116.3	95.1	82%	23.8	20%

両側歩道整備費※		
歩道未設置 延長(km)③	片側歩道設 置延長(km) ④	整備費 (億円)
3.6	42.2	62
17.6	29.1	80
21.2	71.3	142

トンネル整備費(R54号の5ヶ所分) 110 億円
 計 252 億円

○総延長・歩道延長はH11道路交通センサスより算出

○両側歩道整備費＝

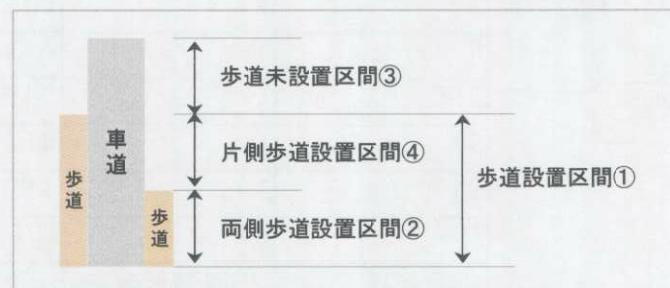
歩道未設置延長③×両側歩道設置単価

＋片側歩道設置延長④×片側歩道設置単価

ここで、

片側歩道単価＝用地補償費2.5万円/m(家屋補償なし)
 ＋工事費10万円/m＝12.5万円/m

両側歩道単価＝片側歩道設置単価×2



R54号トンネル

①三刀屋TN;269m(17億円)、②栗原TN;263m(21億円)、③多根TN;329m(16億円)

④晴雲TN;1120m(31億円)、⑤赤名TN;600m(18億円)

計;2,581m

要防災対策箇所・橋梁耐震補強箇所

			要防災対策	橋梁耐震補強	計
国	R9	箇所数	103	28	131
		事業費(億円)	36.2	28.1	64.3
	R54	箇所数	58	7	65
		事業費(億円)	31.6	4.2	35.8
	R191	箇所数	2	1	3
		事業費(億円)	1.1	1.4	2.5
島根県		箇所数	1720		1720
		事業費(億円)	720		720
計		箇所数	1883	36	1919
		事業費(億円)	788.9	33.7	822.6

雲南市内分

資料／国土交通省、島根県より聞き取り

買物、通学、医療活動等の生活交通

(主)松江木次線整備 乃白工区;1.5億円、飯田工区;4.8億円

(主)出雲三刀屋線整備 伊萱工区:17億円

計:23.3億円

資料／島根県より聞き取り